

私たちのまちは私たちが守ろう!

いざという時の 自主防災組織

もし、私たちのまちに大災害が発生したら…。電話の不通、道路事情の悪化、火災の延焼などにより都市機能は分断され、市や防災機関による消火活動、救出救護などの防災活動が十分に果たせなくなることが考えられます。このような事態から私たちが生き延びるためには、地域の協力体制が不可欠となります。「私たちのまちは私たちが守る」という強い意識を持って、地域防災活動に取り組んでいきましょう。

わが家・わがまちを守ろう

大災害が発生したとき、私たちの住む地域はどうなるでしょう。建物の倒壊、火災の発生、水道や消火設備・道路の損壊、続出する多数の負傷者…。各地で多発する被害に対して公的防災機関が十分対処できないことも考えておかなければなりません。

いざというとき、被害を最小限に抑えるためには、地域住民による防災活動が必要になります。

自主防災組織とは？

災害に対してまちぐるみで力を発揮するためには、地域住民による組織的な防災活動が必要です。

自主防災組織は、住民同士が協力して自発的につくるもので、地域防災活動の拠点になります。あなたの地域でも自主防災組織を結成し、災害に強いまちづくりを目指しましょう。



しよう。

自主防災組織をつくるには

南丹市では、自主防災組織の設置について、自主防災組織の構成や活動内容の基準となるものを定めています。また、自発的な自主防災組織の活動を支援しています。

自主防災組織を設置するときは、組織や活動内容の規約を定めます。

どのような組織を編成すればいいのか

地域や集落などの住民自治組織などで活動をし、また、規模の小さな地域でも隣接する地域と合同で編成することもできます。

自主防災組織では、さまざまな内容の活動を行っているだけでなく必要があります。活動を円滑に行うためにも、各活動



の内容ごとにリーダーを決めておくのがよいでしょう。どのような活動を行うか

自主防災組織の活動には、災害の発生に備えて被害の発生や拡大の未然防止のために日常行う活動（平常時の活動）と、災害が発生した後に地域内で被害の発生や拡大を防止するために行う活動（災害時の活動）があります。平常時の活動の成果が、いざというときの災害時の活動に生かされるものです。

平常時の活動例

- ① 情報収集、伝達体制を確保（避難マニュアルの作成など）
- ② 防災に対する啓発（啓発紙の発行、講習会の開催など）
- ③ 災害への備え（消火資機材の点検整備、備蓄品の管理など）
- ④ 地域を知る活動（避難場所や危険な箇所などの把握）
- ⑤ 災害に対応するための活動（消火訓練・避難訓練など）

災害発生時の活動例

初期消火の活動や地域内の被害状況などの情報収集、救出救助活動や地域住民の避難誘導、避難所などでの炊き出しや救助物資の配分や給水活動

動の協力など

公的防災機関と緊密な関係を

地域住民による自主防災活動は、南丹市や消防署などの公的機関の防災活動と密接な関係があります。公的防災機関との連絡を密にし、良好な関係を築きましょう。



南丹市では、自主防災組織で行う防災訓練、防災の啓発活動などについて、補助金を支給しています。新しく自主防災組織を作ろうとお考えの皆さまは、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

市役所総務課

☎〇七七一―六八一〇〇二一